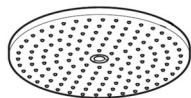


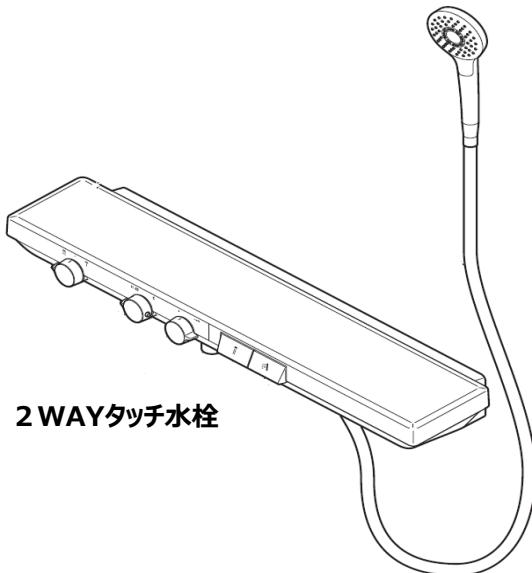
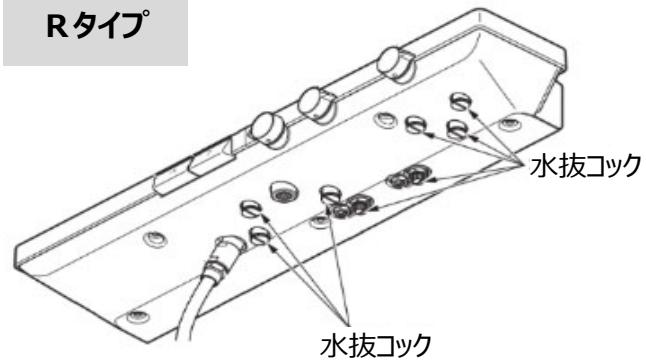
# シンラ HK/WKシリーズ G/R/B/Dタイプ 2WAYタッチ水栓(寒冷地用) 天井にオーバーヘッドシャワーがあるタイプ

オーバーヘッドシャワー

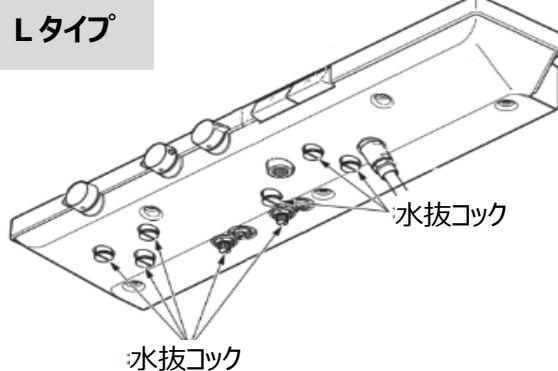


寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

Rタイプ



Lタイプ



## 凍結予防方法

P 2、3

## 通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

## 万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

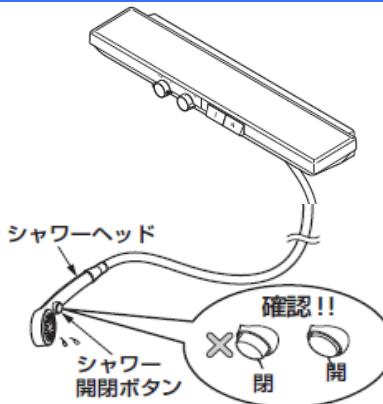
# 凍結予防方法

## 1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

## 2. 水栓の水抜き方法



- 1 シャワーがクリックタイプ（シャワーヘッドにボタンあり）の場合は、シャワー開閉ボタンを押して“開”にする。

- 2 シャワーヘッドを床近くに置く。

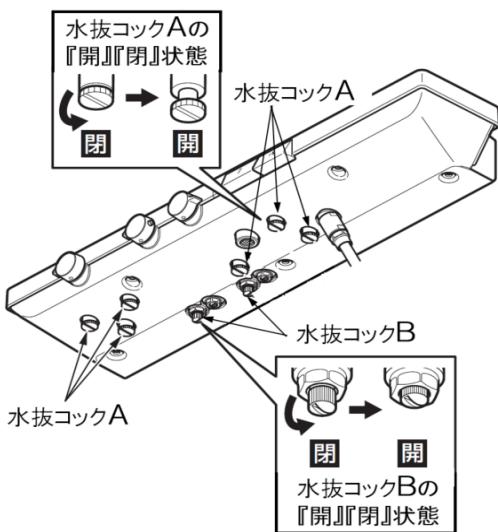
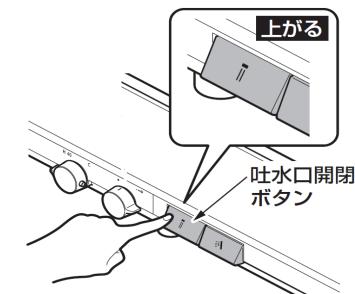
- 3 流量調節ハンドルを反時計回りいっぱい（全開）に回す。

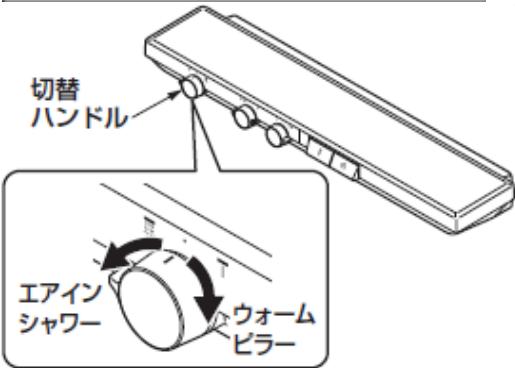
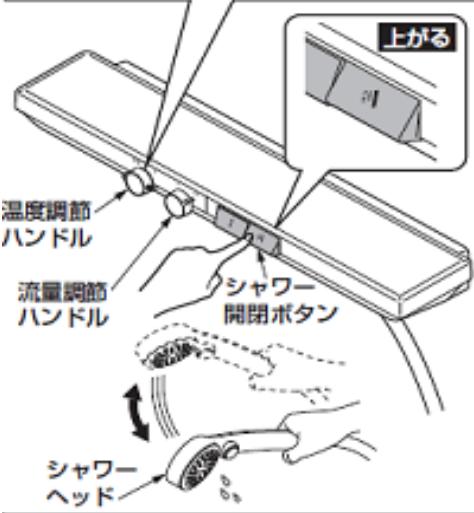
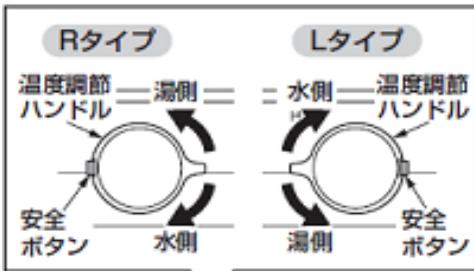
- 4 吐水口開閉ボタンを押す。  
ボタンがあがります。

- 5 水抜コックA 6カ所、  
水抜コックB 2カ所をすべて開ける。  
※水抜コックAとBでは「開」「閉」状態が異なります。

『開』になっているか、図を確認ください。

『開』になると、空気を取り入れ、  
水が抜けやすくなります。





- 6** 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを  
湯側⇨水側と複数回切り替え、吐水口から水を抜く。  
(確実に水を抜くため)

- 7** 吐水口から水が出なくなったら、  
シャワー開閉ボタンを押し、ホース内の水を抜く。

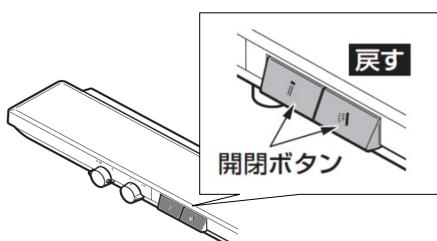
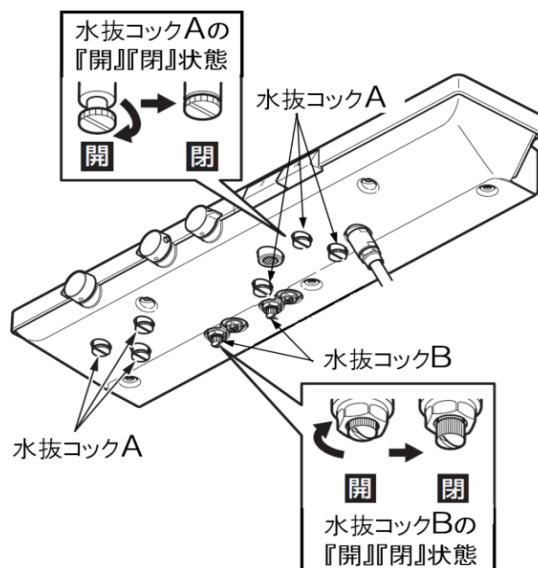
- 8** シャワーヘッドは、下向きにし、  
よく振って中の水を抜いてから、床に置く。

- 9** 切替ハンドルを ウォームピラー側⇨エAINシャワー側と  
複数回 切り替え、オーバーヘッドシャワーの水を抜く。  
天井のオーバーヘッドシャワーから落ちてくる水に  
ご注意ください。

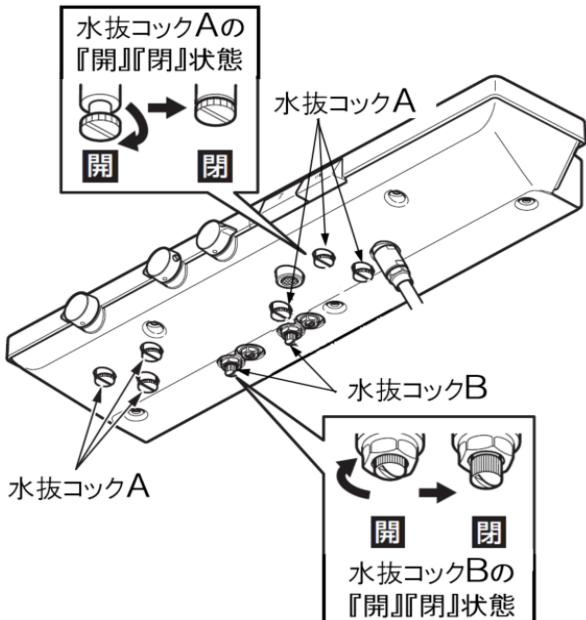
- 10** 確実に水が抜けたことを確認する。  
(水抜きが不十分な場合、  
凍結破損のおそれがあります)

- 11** 水抜コックA 6カ所、  
水抜コックB 2カ所をすべて閉める。  
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。  
『開』になっているか、図を確認ください。

- 12** 開閉ボタンを戻す。  
⇒水抜き完了です。

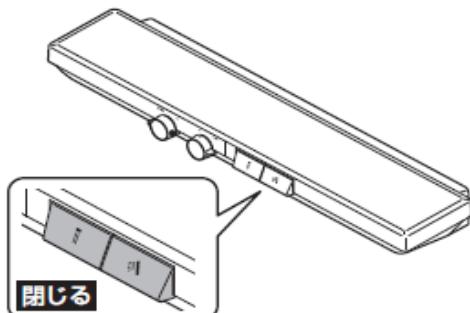


## 通水再開方法



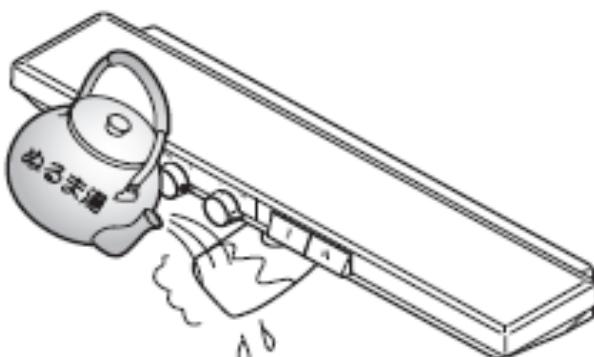
- 1 水抜コックA 6カ所、  
水抜コックB 2カ所をすべて閉まっていることを確認する。  
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。

『開』になっているか、図を確認ください。



- 2 開閉ボタンが閉じていることを確認し、通水を再開する。

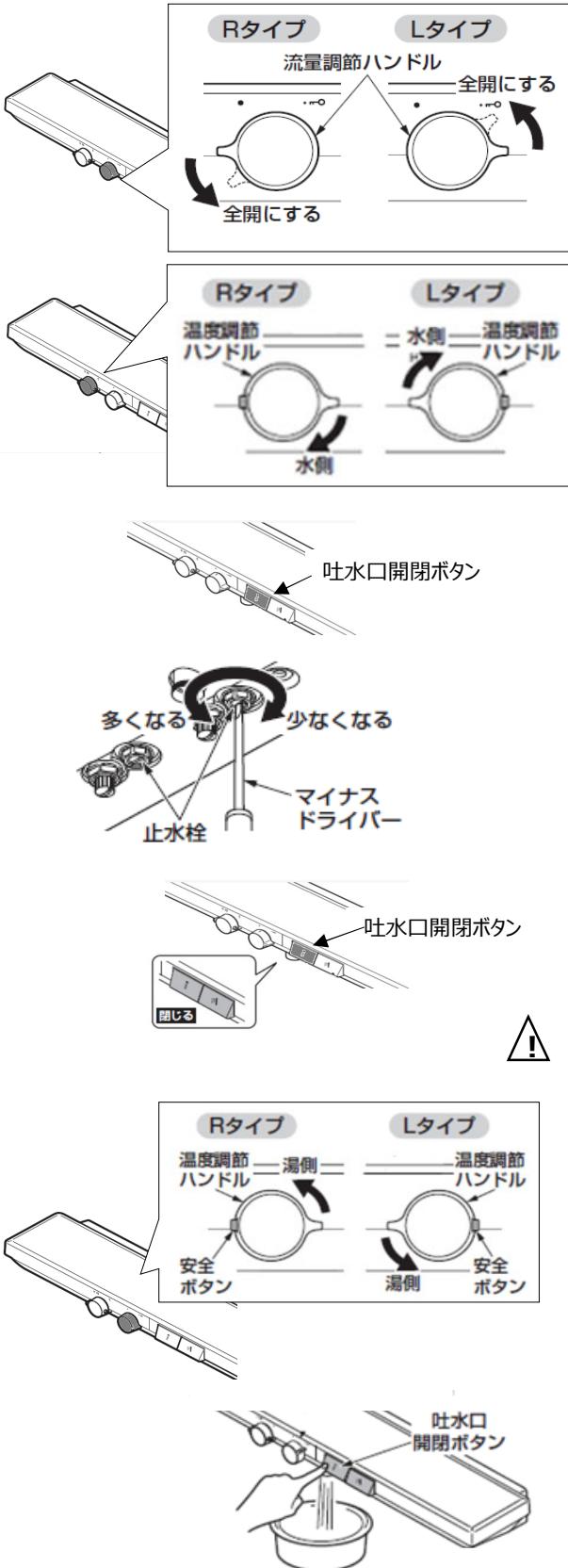
## 水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法



水抜きを行っても吐水口の網目や  
フィルターに付着した水滴が凍り、  
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、  
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

## 通水再開後に流量が変わった場合の対応方法



準備するもの：洗面器、マイナスドライバー

**1** 流量調節ハンドルを反時計回りにいっぱいに回し、全開にする。

**2** 温度調節ハンドルを時計回り（水側）いっぱいに回す。

**3** 吐水口開閉ボタンを押す。

**4** （洗面器一杯にするのに約15秒弱）  
水側止水栓で調節する。

時計回りに回すと流量が少くなり、  
反時計回りに回すと多くなります。

**5** 吐水口開閉ボタンを押して、水を止める。

**湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。**

**6** 安全ボタンを押しながら  
温度調節ハンドルを反時計回り（湯側）  
いっぱいに回す。

**7** 吐水口開閉ボタンを押す。

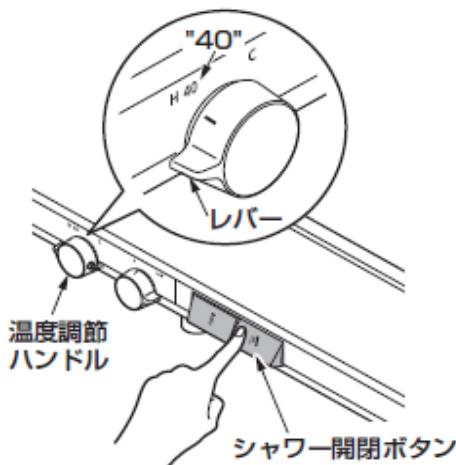
**8** 流量が15L/分程度になるように  
(洗面器一杯にするのに約15秒弱)  
湯側止水栓で調節する。

時計回りに回すと流量が少くなり、  
反時計回りに回すと多くなります。

## 万一凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。



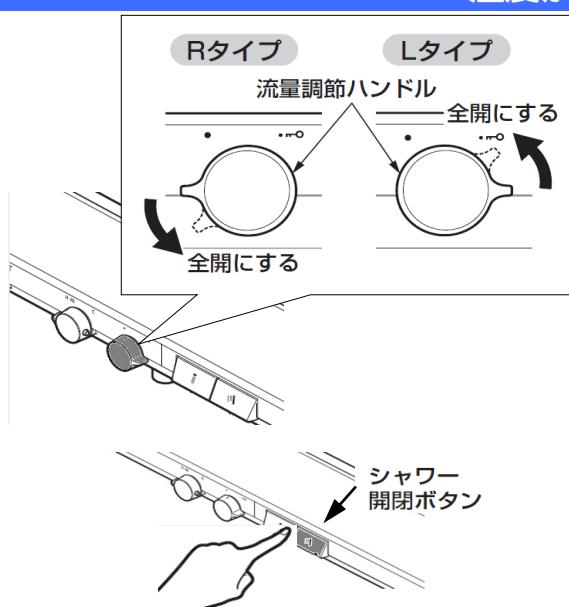
準備するもの：温度計

万一、凍結した場合は、

通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルのラインを  
"40" にあわせ、吐水温度と一致しているか確認してください。



## 温度がずれている場合の調整方法



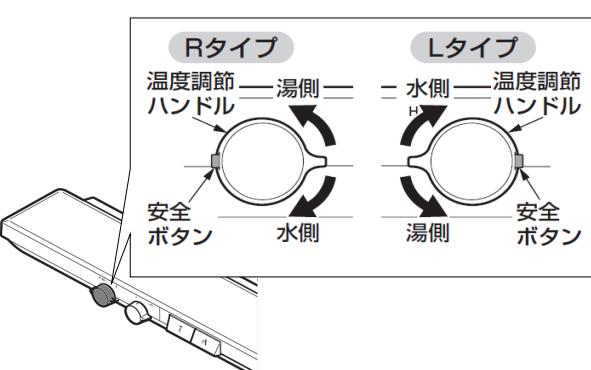
準備するもの：温度計、六角棒レンチ

①

流量調節ハンドルを  
反時計回りいっぱい（全開）に回す。

②

シャワー開閉ボタンを押す。  
シャワーから水が出ます。



③

温度調節ハンドルを"40"表示の位置に関係なく  
適温（約40°C）の湯が出る位置まで回す。  
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で  
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、

④

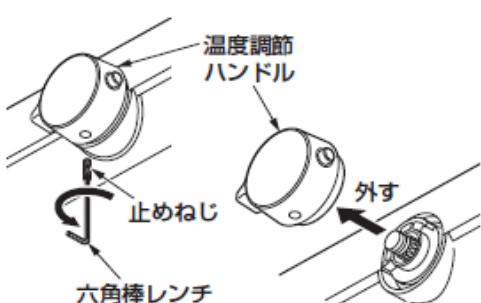
温度調節ハンドルを外す。

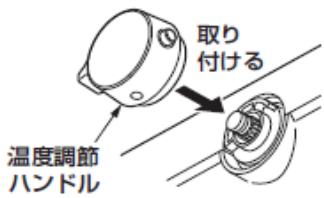
温度調節ハンドルが回らないように注意して  
止めねじを外す。

ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。

落下させるとけがをしたり、

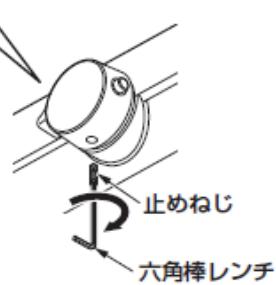
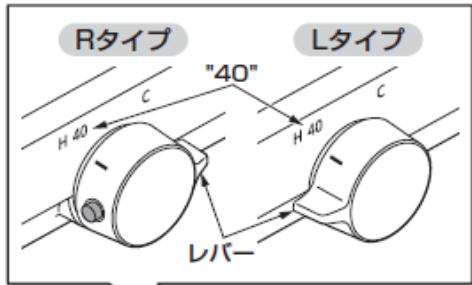
ハンドルが変形するおそれがあります。





5

"40"の文字とラインをあわせて、  
温度調節ハンドルをはめ込む。

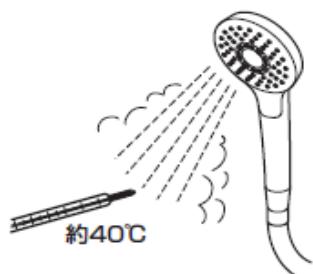


6

六角棒レンチで、  
止めねじを固定してください。

7

温度調節ハンドルに  
ガタツキがないことを確認する。  
正常に固定されていない場合、  
ハンドルが落下するおそれがあります。



8

固定後に適温（約40°C）の  
湯が出ているか確認する。